

特集1

中部支部集会報告

～今、学校教育・理科天文分野で
起きている・起きつつある教育変革～

矢治健太郎（核融合科学研究所）

2021年度の中中部支部研究集会は、2021年10月26日（火）20時からオンラインで開催しました。今回、一つの試みとして、平日夜の時間帯に開催しました。昨年8月の年会時の中部支部会の中で、「平日に行ってはどうか?」「2時間くらいで」「計3回くらい」「他の支部からもぜひ参加を促したい」などの意見があり、今回の開催形式となりました。

今回のテーマは、「今、学校教育・理科天文分野で起きている・起きつつある教育変革」としました。中部支部では、前回の研究集会（2021年1月22日開催）でSociety5.0をとりました。しかし、学校教育の現場では、他にも、SDGs、GIGAスクール構想、ポートフォリオ教育、STEAMなど、様々な教育変革が起きつつあります。そこで、天文教育普及にもどのように関係しているのか、議論する機会としました。

初めに、大西浩次氏（長野高専）が今回のテーマの趣旨について説明しました。そして、このテーマに関して、伊藤信成氏（三重大学）と前田昌志氏（三重大学教育学部附属小学校）に話題提供をしていただき、さらに4件の発表がありました。加藤明良氏（さいたま市教育委員会）から今回のテーマに関連するSTEAM教育に関して、杉村聖允氏（静岡大学）からは人工知能に関する動画による発表がありました。参加者から活発な質問が出るなど、この類の話題への関心の高さが示されました。まとめの議論では、アートと天文教育普及との関わりについて話題が及びました。

当日のプログラムを以下に示します。発表内容については、各集録原稿をご覧ください。

当日のプログラム

- 20:00～20:10 自己紹介+趣旨説明
 20:10～20:30「Society5.0, STEAM, GIGA スクール・・・横文字施策と天文教育」伊藤信成（三重大学）
 20:30～20:55「GIGA スクール時代の天文教育」前田昌志（三重大学教育学部附属小学校）
 20:55～21:05「STEAM 教育に天文教育はどうコミットするか」加藤明良（さいたま市教育委員会）
 21:05～21:15「人工知能を伝える教育を目指して～機械学習を学んで作って考えた～」杉村聖允（静岡大学） ※動画発表
 21:15～21:20「諏訪天文同好会 100周年を来年迎えるにあたって」大西浩次（長野高専）
 21:20～21:25「看護学校での『薄い天文普及』」飯塚礼子（明星大学）
 21:25～21:40 まとめ議論、次回の案内など

事前の申し込みでは約40名の参加申し込みがあり、当日は32名が参加しました。中部支部以外から、北海道、東京、埼玉、京都、兵庫から参加がありました。支部集会冒頭に自己紹介の時間を設けたのですが、参加者が多かったこともあり、概ね各都道府県から一人ずつ自己紹介をしていただいで、他の方はチャット欄に自己紹介を積極的に書き込んでいただくスタイルにしました。

今回は、年明けに、「若手」あるいは「市民科学」をテーマに支部会を行いたいという意見がありました。開催要項は決まりましたら、ご案内いたします。皆さまの積極的な参加をお待ちしています。